

おおしみず  
大清水

鶴岡市湯温海乙

～平成27年度選定～



## 里の名水・やまがた百選

鶴岡市あつみ温泉街を東に向かうと、名水と同名の蕎麦屋の隣に小さな公園があり、その奥の祠の下から清水が湧き出している。温海岳の伏流水で、江戸時代中期の荘内藩の右筆で、歌人、書家の建部山比子の歌にも詠まれている。建部が詠んだ歌「夏かけて消えぬ氷もあらなくに 寒き山の井の水」の石碑が近くに立っている。



〔管理者〕 鶴岡市 〔保全体〕 外部委託業者



## 歴史

江戸時代後期に荘内藩士である安倍親任（ちかとう）が記した史書「筆濃余理（ふでのあまり）」の中には、「平清水」と記載され、酒井の殿様が湯治に来た際にこの水を飲んだと伝えられている。昔から名水として親しまれた歴史を持つ湧水である。



## アクセス

（北緯 38.613944° , 東経 139.614000° ）

鶴岡市の市街地から、高速道路か国道7号線を通ってあつみ温泉を目指す。温泉街の標識に沿って、県道44号線を東に向かえば、すぐに温泉街にたどり着く。温泉街を抜け、温海川を右手に見ながらさらに100mほど進むと「手打ちそば大清水」がある。その東隣に公園があり「大清水」がある。公園の前に、車が2台ほど駐車できる駐車場がある。

## 近くの見どころ

- <やまがた百名山 > ◆ 温海岳、摩耶山
- <日本一の滝王国山形 > ◆ 一ノ滝、二ノ滝、三ノ滝、湯見ヶ滝（温海町湯温海）
- <やまがた景観物語 > ◆ マリンパークねずがせきから見る夕暮れの日本海と弁天島の眺め

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。

